

なみせいだより

創刊号

発行所 近畿税理士会浪速支部青年部

〒556 大阪市浪速区難波中1-17-16 ☎ 06(649)7788

発行人 大野 裕 康

編集人 紀 村 一 太



95・10・29 ファミリー・バーベキュー・パーティー

堺：大泉緑地にて

目 次

リニューアル・オープン『青年部』

青年部長 大野 裕 康……(2)

創刊を祝して

浪速支部支部長 稲 垣 良 三……(2)

よ～い、ドン!!

～創刊にあたって～

総務担当 中 谷 裕 之……(3)

研修担当 下 間 茂……(3)

厚生・事業担当 岡 正……(3)

広報担当 紀 村 一 太……(4)

無任所担当 檜 垣 典 仁……(4)

事務局長 藤 原 伸 彦……(4)

直前部長 辻 本 友 明……(5)

研修会に参加して

森 英 雄……(6)

「ファミリー・バーベキュー」の一日

内 海 清 次……(6)

平成7年度上期青年部役員会……(7)

グループだより……(7)

「ご虫員に！」 竹 田 平八郎……(8)

「43人に聞きました」ミニアンケート……(8)

おめでとう!……(8)

編集後記……(8)

リニューアル・オープン『青年部』



青年部長

大野 裕 康

文字通り、到るところで天地の揺らいだ本年ではありましたが、時の刻みは遅れなく、早や暦果つ頃となりました。みなさま方には、日頃より当青年部の活動、運営等につきまして、深甚なるご理解、ご支援を頂戴し、心よりお礼申し上げます。

この五月に、永きにわたり、青年部長としてご尽力をいただきました辻本友明先生より、非才の私にとりましては、大層重いバトンのタッチを受けたわけでありましたが、みなさま方の熱いご協力のもと、どうにか今日まで駆けてくることが出来ました。時を同じくして、同じ浪速区という場所に、同じ世代が、同じ税理士としての業を営むこの「縁」の不思議。この「不思議」を大事に、大切にしていこうこそが、我々「浪速支部青年部」の存在のベースであることを、今、各々が改めて確かめてみるべき節目に当たったのではないのでしょうか。

会員数も四十有余名となり、従前とはガラリと色合いも変わりました。そろそろ、この辺で少し整理整頓をして、そしてその「不思議」を大切にしてくるべく、いつも同じ様なメンバーが活動の中心に居るというような構図を見直し、みんなが各々に分担をし、全員の知るところにより、全員の力でもって何かをやってくという「誰からも近く、等しい距離にある青年部」を目指すべく、春より少しの工事期間を戴いて、リニューアル・オープンをいたしました。

その新生「青年部」の元気な活動のひとつとして、本日、この広報誌「なみせいだより」誕生の運びとなった次第であります。「等距離にある青年部」のシンボルであり、逆にまた、その実体でもあるような暖かい会報となりますように、一人でも多くの方の手を、足を、汗を、息をお寄せいただきたく、創刊にあたりお願い申し上げます。

「青年部でなければ・・・」、「・・・だからこそ」という活動を通して、より親しく、頼りあえる、楽しい、元気なパーティーに育ちますよう、青年部会員相互の更なるお力添えは勿論

のこと、沢山の先輩先生方にも囲まれながら、その豊かなご経験からのご指導、ご教示等温かく賜わりたく、ここに心よりお願いを申し上げます。まして、私のごあいさつとさせていただきます。

創刊を祝して

近畿税理士会
浪速支部支部長

稲垣 良三

今年は地震で始まり、オウム事件、金融機関の破綻、円高による国内産業の空洞化、消費景気の低迷等、暗いニュースばかり続く中に青年部による「なみせいだより」の創刊を知り一陣の涼風が心の中を通り抜け、久し振りに明るい気分になりました。情報化時代に即応し、機関紙の必要性について青年部の役員先生方も真剣に検討を重ねられ部員相互間の親睦とコミュニケーションを図る媒体として又浪速支部報（近税なにわ）にも配慮しつつ、この度「なみせいだより」の創刊号が発刊される運びになり、心よりお慶びと共にお祝いを申し上げます。発刊に至る迄の青年部の役員先生方の努力に対して敬意を表する次第でございます。

この機関紙を通じて、より一層情報化に努め青年部員の結束を強化し、より良い青年部として内外の評価の上昇を期するよう精一杯の努力をかたむけて下さい。

本年は例年に無く税に対する国民の関心が強く「課税の公平」が声高く叫ばれています。我々税理士は税の専門家として社会的評価も高く国民の信頼をも得ております。高い識見と専門家としての経験を生かして、初期の目的達成に最大限の努力をしなければならないものと存じます。

経済環境の悪化に揺れる各企業のパートナーとして、又社会の要請に応えるべく研鑽に努め業務基盤の確立と税理士制度の発展を願っております。

平素は支部運営並びに活動につきましては深いご理解と暖かいご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げますとともに、会員先生方のご健勝とご発展を祈念致しまして、創刊のお祝のご挨拶といたします。

よ〜い、ドン!!

—創刊にあたって—



総務担当責任者

中 谷 裕 之

今般、近税浪速支部青年部総務担当責任者を拝命賜いました。青年部活動といいますと、年2回の浪青ゴルフコンペに参加させて頂く程度でありましたが、7年余りに及ぶ当青年部組織も、その構成員数の増加等に伴い今一度、整理、整頓、整列を試みようとの諸先生のお考えに賛同申し上げ、自分といたしましても何かのお役に立ちたい、立てたらと思っております。

さて、これからの総務担当の役割といたしましては、(1) 当青年部会員相互間の親睦、資質向上、一丸性を形成する種々のイベントにおける、より円滑な連絡役、啓蒙役となり、(2) 上記活動を支える青年部規約、連絡網を整えるものと存じております。

活発な意見交換に基づいた全員参加型の会務運営を願いつつ、皆様方のご協力、ご指導をお願い申し上げまして、当総務グループの活動方針とさせていただきます。



研修担当責任者

下 間 茂

この度青年部研修担当責任者の大任をおおせつかりました下間茂でございます。

以下、活動方針等を「年間行事」、「日常的活動」に分けて述べさせていただきます。

1. 年間行事……すでに第1回青年部研修会として平成7年9月20日に浪速税務署・津村署長を講師として、「津村署長を囲んで」と題して開催させていただいたところではありますが、今後もあまりマクロ的にならず

に実務に密着するような方向性をベースに実施していきたいと考えております。

2. 日常活動……若手会員が青年部のメンバーであることに鑑みて、「青年部よろず相談所」のようなものを開設したいと考えております。税務事案は勿論のこと、その他税理士業務を通じて悩んでいること、考えていることなどなど、打ち明け、また相談にのってくれるといったものが出来ればいいなと思っています。詳細等はこれから詰めなければならないことではありますが、会員諸氏のご意見等をお聞かせ下さい。

何分若輩ものでございますので、諸先輩方のご指導の程よろしくお願い致します。



厚生・事業担当責任者
岡 正

この度、大野青年部長より厚生事業担当の責任者を仰せつかりました。私がこの浪速支部に入会させて頂きましてから、右も左もわからないうちに15年の歳月が立ちました。もはや青年部の中では、高齢の部類となっていました。何分にも不慣れでございますので、会員諸先生には多分ご迷惑をおかけする事であろうかと存じますが、一生懸命、努力致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

厚生事業部門は、忘年会、ソフトボール、バレーボール、ハイキング、ファミリー参加企画等もっぱら遊びのカテゴリーで、青年部会員先生方の相互の親睦を図る諸行事でございますので、その節には多数のご参加の程お願い致します。なお厚生担当のメンバーは、副責任者には柏山行雄、磯部光淳、岩橋一好の3先生、アシストには竹田平八郎、中谷悦造、藤田昌史の3先生方です。以上7名で、ヤング思考で頑張って企画して行きたいと思っております。会員先生方のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



広報担当責任者

紀 村 一 太

今年5月10日、宗右衛門町の田舎そばにて「青年部春季懇親の集い」が催され、その席で大野裕康先生が新たに青年部長に就任されました。後日、青年部も組織的にアクションを起そうと、私に広報担当の責任者にとの依頼があり、これまでの青年部と同様の感覚（和気あいあいと、なにもしなくてもよく、参加だけ…!?) で快諾させて頂いた次第です。

広報担当のスタッフは、副責任者に伊藤誠康先生・渋谷忠芳先生、委員に白川勝巳先生の4名の構成員でスタートしました。広報チームは、会員先生に青年部の活動をアピールして、より沢山の参加を求め相互の連絡・親睦を深めるため、肩のはらない・袴を脱いだ・プロムナード的な会報「なみせいだより」の発行を行いますので、青年部会員先生方のご協力と「たより」へのご投稿をお願い申し上げます。



無任所担当

檜 垣 典 仁

この度、浪速支部青年部より無任所の役員を仰せつかりました。無任所というポストではっきりとした担当分野は不明でございますが、私

が、浪速支部の副支部長を仰せつかっている関係から、支部と青年部とのパイプ役となり、また、他のグループのお手伝いをするポストと自認して、微力ながら浪速支部青年部の活動のお役に立てればと思っています。しかしながら、何分にも浅学非才な私でございますので、青年部の諸先生には多大なご迷惑をお掛けする事と存じますが、皆様のご指導、ご鞭撻を賜わり、頑張っていきたいと思っています。どうぞ、今後とも宜しくお願い申し上げます。



事務局長

藤 原 伸 彦

浪速支部に於いて、青年部の位置づけがどのようなポジションになるのか。青年部の構成員が、どのようなスタイルで参加するのか。この若手税理士の組織に所属して、各自がどのような事を学んでいけるのか……。とにかく始まったばかりの活動ですので、小さくても確実に果実になるよう、皆様のお力を借りながら一步一步前進していきたく思っております。

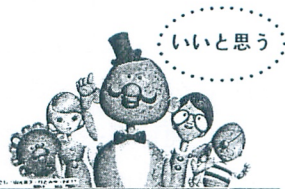
青年部のパワーアップを合言葉に、総務・研修・厚生事業・広報の各グループに分担して、多忙な先生方に懸命に活動をいただいております。この成果を事務局に各グループの会議議事録としてお預りしております。こうした会務運営の基礎的な経験が、各々の仕事や近畿税理士会浪速支部での委員会に於いて発揮できることを願っております。

簡単粗辞で恐縮ですが、浪速支部青年部に暖

住友海上の年金払積立傷害保険「ゆうゆう」

これが「ゆうゆう」5つの、いいと思う。

- ① 毎年受け取る基本給付金で、ゆとりのセカンドライフが実現できて、いいと思う。
- ② ケガによる死亡・後遺障害が補償されるので、いいと思う。
- ③ 加入後、生活設計に合わせプランを変更できて、いいと思う。
- ④ 加入時、医師の診査も健康状態の告知も不要で、いいと思う。
- ⑤ 契約者貸付が必要なときに資金が用立てできて、いいと思う。



年金払 積立傷害保険 ゆうゆう

住友海上

難波支社 〒556 大阪市浪速区難波中1-6-4 TEL(06)648-1151 (難波第一生命ビル6階)

かいご理解とご協力を改ためてお願いいたしまして、「なみせいだより」創刊のご挨拶とさせていただきます。



直前部長

辻 本 友 明

青年部新聞創刊おめでとうございます。プレスとしての役割は多大なるものと大いに期待しております。

さて、創刊に当り青年部リニューアルオープンに至るまでの足跡を簡潔にご紹介させて戴きます。昭和50年代まで歴史を溯りますと、当時は梶田惇・篠田格両先生が中心になられソフトボール、ボーリング等スポーツを通じて若手グループの親交を温められていたと聞き及んでいます。その後、昭和61年の冬に第一回浪青会ゴルフコンペが開催されました。これが大きな契機になり若手の中に結束の芽生えが見られる様になってきました。そして現在も継続され来

の春には第20回を向かえようとしております。一方、両先生より私に世話役の引き継ぎを受けると共に、太田元支部長より青年部として、非公式ではありますが発足し、支部活動への協力と青年部としての活動の充実を図ってはという要請を受けまして、平成2年に第一回の青年部総会を開会する運びとなりました。以後、浪青会ゴルフコンペは年2回、総会兼親睦会は年1回、その他プライベートのイベントも随時実施され、更に支部諸行事につきましても会員先生多数のご協力を仰ぎ青年部として活動を続けてまいりました。その中で、会員数が除々に増加しアクティブメンバーも多くなるにつれて、各々が青年部のグレードアップを念じ、自然派生的に現在のスタイルに整備されたのだと私は考えています。まだまだクリアしなければならない問題も山積しているとは存じますが、新部長のもと一層の飛躍を熱望してやみません。私も現役はあと少し、お手伝い出来る事がございましたら何なりとお申し付け下さい。

男の盛りもあつと言う間です、でも、でも、もう少しこの青年部に置いてやって下さい。

NEW青年部、ボンボワイヤージュ!!

俳 壇

摘みし手にすぐに爆ぜけり鳳仙花

檜垣 典仁

菊人形足の先まで咲いてをり

同

頬杖に煙草くわえる秋思かな

岡 正

一枝見る隙間を行きし秋の雲

同

花は葉に琴の音もるる武家屋敷

辻本 友明

瀧壺の外へくと水の華

同

ははそはの母も弱りぬ蟬時雨

木村 守夫

赤とんぼ衝突せぬが不思議なり

同

黄昏のプロムナードに秋の雨

中野 孝治

秋刀魚焼くエプロン掛けの母を恋ふ

同

千手茶屋とはよき名なりビール乾す

中谷 裕之

くもの糸八畳岩に降りてきし

同

時雨きて象舎静もりゐたりけり

大野 裕康

階下よりレンジの音の夜長かな

同

研修会に参加して



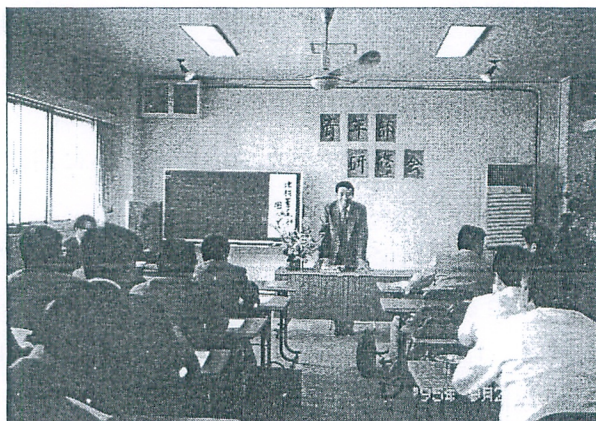
森 英雄

平成7年9月20日、浪速納税協会2階に於て青年部主催の研修会が行なわれ、私も青年部研修グループの一員ということもあり、受付も兼ね参加させて頂きました。

当日は、講師が本年浪速署に赴任された津村俊雄署長ということもあるのか、多くの会員が出席され大変な盛況でありました。講演の内容は、主として「不服審判所」の制度や機構さらには審理事務の内容等、前職の大阪国税不服審判所審判官というご経験に基づいた豊富なものであり、引き続き行なわれた参加者の質疑にも

丁寧にお答え下さいました。しかし浅学非才な私にとっては、不服審判所に関するご講義もさることながら、途中随所で触れられる話し合いやコミュニケーションを非常に重視され、また実践されているご様子は、そのお人柄とも相俟って非常にうれしく感じました。

今回の青年部研修会は、支部研修会とはまたひとあじ違った趣きもあり、次回を楽しみにしております。



「ファミリー・バーベキュー」の一日



内 海 清 次

堺市の大泉緑地において10月29日青年部バーベキュー大会が行なわれた。前日は夕方から小雨模様で天気予報も当日は昼まで雨という予報であった。2～3日前から長男の拓久也には日曜日は公園でバーベキュー大会があると耳打ちしておいたが、目が覚めると天気はどんよりとした曇空、あ～あと思ったが一番最初に目を覚ましていた拓久也はテーブルの下で、何やらごそごそとタオルケットを広げている。「何してるの」と聞くと、「バーベキューのためのマットを用意しているの」と、子供心に楽しみにしているのだなあ、なんとかお天気になればと思っていと雲の間からお陽様が差しこみ、一転私の心も曇から晴れへと変わり、家内に「今日はいけるぞ」と二人して微笑んでいた。

大泉緑地へ着くと厚生担当の先生をはじめ、初めて顔を合わせた奥様方たちも全員が朝早く

から和気あいあいのうちに準備にとりかかっており、とりあえず、足手まといにならないようにがんばろうと思い、家内は料理の準備、私は子供の世話をしていた。そして、いよいよ、焼きあがり、肉、魚、野菜、茸、etcと盛り沢山の山海の味に、喜々として舌づつみを打ち、子供たちの福引き、輪なげに興じる姿を目を細めて眺めるうちに、楽しいひとときはあっという間に過ぎてしまった。参加の先生方のいつもとは違う「顔」、「顔」、「顔」が拝見でき、参加して本当によかったなあ、また来年も家族全員で楽しい一日を持ちたいものと思った。

最後に当日ご苦勞されました厚生委員の先生方どうもありがとうございました。



平成7年度上期青年部役員会

第1回 日 時 H7.6.20
場 所 浪速納税協会 2階
議 題 1. 新役員の承認
2. 年間事業スケジュール策定

第2回 日 時 H7.8.8
場 所 浪速納税協会 2階
議 題 1. 各グループスタッフ確定の件
2. 諸活動行事の決定他

第3回 日 時 H7.10.3
場 所 浪速納税協会 2階
議 題 1. 各グループ会議等活動状況報告
2. 連絡網等について
3. 広報誌創刊について
4. ファミリー・バーベキュー会について
5. その他

・H7.10.24
「バーベキュー・パーティの件」最終打合せ
大野裕康事務所 出席者9名
・H7.10.29
「バーベキュー・パーティ」開催
大泉緑地 参加者43名

広報グループ

・H7.8.4
「会報の発行について」
初音寿司 2F 出席者4名
・H7.8.23
「会報に関するアンケートについて」
大野裕康事務所 出席者6名
・H7.10.11
「第1回創刊号編集会議」
大野裕康事務所 出席者7名
・H7.10.27
「第2回創刊号編集会議」
大野裕康事務所 出席者6名
・H7.11.15
「第3回創刊号編集会議」
大野裕康事務所 出席者8名
・H7.11.21
「第4回創刊号編集会議」
大野裕康事務所 出席者8名

研修グループ

・H7.7.19
「本年度の研修行事の開催時期及び研修内容の要望・意見等について」
下間茂事務所 出席者7名
・H7.9.16
「9月20日実施の研修会に関する当日のタイムスケジュール等について」
下間茂事務所 出席者4名
・H7.9.20
—第一回研修会開催—
「津村署長を囲んで」
浪速納税協会 2階 出席者28名

ーグループだよりー

総務グループ

・H7.8.3
「規約内容、連絡網の検討」について
中谷裕之事務所 出席者6名
・H7.9.6
「連絡網の作成」について
中谷裕之事務所 出席者6名

厚生・事業グループ

・H7.7.13
「厚生グループの1年間の行事予定」について
大野裕康事務所 出席者8名
・H7.8.24
「予定行事の具体的実施決定」
「バーベキュー・パーティの実施」について
大野裕康事務所 出席者8名
・H7.9.27
「バーベキュー・パーティの件」について
ホテル南海 2F レストラン 出席者8名

新しい時代のニュービジネス 代理店経営のおすすめ

全国の税理士会では、既にたくさんの先生方が周辺業務の一環として積極的にご採用いただいております。
詳細は当社の担当職員におたずねください。

〈お問い合わせは下記へ〉
大阪市中央区南船場2丁目4-8 第百生命ビル9F
関西特別法人部 TEL (06)262-6214



第百生命

ご贔員に! —私のお勧め—



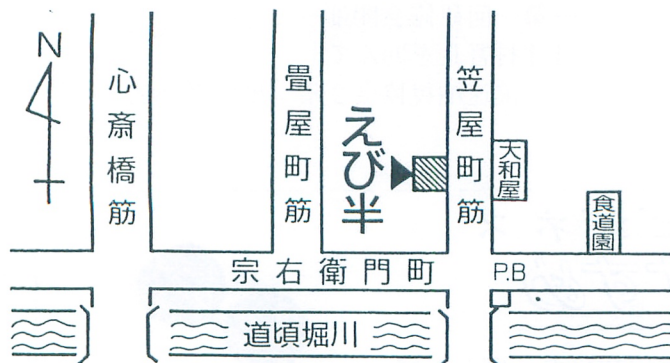
笠屋町『えび半』

竹田 平八郎

こんにちは、竹田と申します。記念すべき第一回目に、どんなお店を紹介したらよいか困ってしまいました。へたな飲み屋さんを紹介すると、何か自分の私生活をさらけ出すようで恥ずかしくもあり、今回は無難なところで、寿し屋さんをご紹介します。

店の名は「えび半」。笠屋町筋、大和屋の向かいにあり、「味は一流、値段は二流」といったところでしょうか。実はこのご主人、今年7月にこの場所にオープンするまで、千日前の裏通りで15年間、機嫌よく営業していたのを、立ち退きによりはからずもこちらへ移転してきたのであります。ピンサロの呼び込みを振り払いつつ、路地を突き進んだところにあった5人座れば満席の以前の店へは、ちょくちょく通わせてもらいました。「味は一流、値段は三流」と紹介したかったところですが、固定費のアップにより冒頭の紹介とあい成ったわけであります。参考までに料金の一例を。

えびのおどり・うに・はまち・とり貝・あなご・しゃこ・きゅうり巻き・赤だし、以上各二人前にビール二本で¥13,200、といったところ です。以後、ご贔員に。



〒542 大阪府中央区宗右衛門町6番6号

日宝メモリアルビル1F

TEL (06) 213-6969

定休日(日曜、祝日)

43人に聞きました!

(平成7年10月16日実施)

1. 先生は煙草を

イ. 吸わない.....13名

A. 最初から 5名

B. やめた 8名

ロ. 吸う.....19名

1日に約10本以下 2名

20本以下 7名

30本以下 5名

40本以下 4名

40本超 1名(最高80本)

2. 先生が事務所を退所する時間は平均して何時頃ですか

イ. 午後5時頃.....2名

ロ. 午後6時頃.....13名

ハ. 午後7時頃.....12名

ニ. 午後8時頃.....3名

ホ. 午後9時頃.....2名

(回答者数...32名)

おめでとう!

平成7年8月21日

中谷悦造先生

二女 ^{やすこ} 晏子 ちゃん誕生

編集後記

「千里の道も一歩から」

本日、「なみせいだより」の創刊号を発刊することとなりました。

篠田格・梶田惇両先生によって誕生した青年部も、辻本友明先生によって育てられ、今日、大野裕康先生の指揮のもと一人立ちをして長い道程への第一歩を踏み出しました。

「なみせいだより」も、今後青年部の活動報告や情報提供を目的として、青年部の歩みとともに千里の道を歩きたいと考えています。

生まれたばかりの「なみせいだより」を青年部先生全員のご協力により育てていただきますようお願い致します。

(伊藤 記)